神奈川県立荏田高等学校　学校運営協議会　開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和8年度　荏田高等学校　第2回　学校運営協議会
開催日時	令和8年11月6日(金)　15:50～16:50
開催場所	荏田高等学校　会議室
出席者	(委員)市川　宰、関　俊平、阿部　千鶴、髙田　由美、小松　巌 (職員)三橋良明、伊藤　育生、森　隆、濡木　一花、浅川　健太、今里　学、加藤　道夫、戸田　真一、牧野　雄 (書記)山口久
会議資料	神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則、神奈川県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱、スクールポリシー、グランドデザイン、学校教育計画、学校評価報告書(目標設定)、中間報告(学習支援、生活支援、活動支援、進路支援、情報・広報、管理運営、地域連携部会)
議事録	1.会長あいさつ(市川宰委員) 大きな学校行事がひととおり終わり、どの行事も無事に終わって良かった。本日は報告事項があるということなので、しっかりお聞きしたい。 2.校長あいさつ(小松巌校長) 主な行事が終わったが、次週マラソン大会があり、荏田坂清掃やグリーンCLEANえだ大作戦等、地域にも引き続き貢献していく。最近の部活動の結果では、陸上競技部が駅伝で女子は5位入賞で関東大会に出場を決め、男子は9位で惜しくも逃した。本校は引き続き部活動に力を入れていく。 3.議事 (1)学校評価部会 ○令和8年度中間報告及び今後の活動について ①学習支援Gより (スタディサプリの活用状況)　森　隆　総括教諭 4年前コロナ禍で自学自習教材として導入した。現状としては常に自習として使っているのはそれぞれ50～60人程度。1、2年は宿題としてやっているが、3年の使用稼働率が悪い。総合型受験が多く、一般受験用の受験勉強をあまりしないことが要因か。 (ロイロノートの活用状況)　濡木　一花　総括教諭 今年度は試用期間。ロイロノートの有効性を感じて使う教師、全く使わない教師との温度差がある。活用例としては「英語の音読」や「音楽の歌唱」を録音して提出させる形がある。研究授業や、それ以外でも使う教師もあり、手探りしつつ活用の道を模索中である。 ▷関　俊平　委員　ロイロノートの活用が、教師の間で活用度の温度差がある状態で良いのか。クラスなどで差が出ないのか。 ▷阿部　千鶴　委員　確かに電子黒板も教師によって使う頻度は違うし、教師間でも使い勝手が違う状況は出るのかもしれない。荏田南小では、ロイロをよく使用している教師に、他の教師が使用例を聞きに行って「良い活用法」」に気づくなど相互間のやり取りがある。荏田高校では今年度は無料だが、来年度からはお金を取るのであれば、活用しない教師は説明責任が問われるかもしれない。欠席でプリントが配れない場合も伝えられたり良い活用ができているので、荏田南小にぜひ見に来てほしい。また、生成AIを使うことで忙しい先生方の教材作成の時短となるので、これもぜひ活用していってほしいと考える。 ▷小松巌校長　恥ずかしながら、本校でのロイロノートの活用は遅れている。活用を進めるために、少しずつでも時間をかけて浸透させていきたい。 ▷関　俊平　委員　全員がやる、ということが大切だ。やらないのではゴールは目指せない。到達度に差は出ても、まず全員でゴールを目指す機会を与えてあげないといけないのではないか。 ②生活支援Gより (かながわ子どもサポートドックについて)　浅川　健太　総括教諭 GW明け、夏休み明けの2回実施した。長期休み明けは生徒の心が不安定になりやすいということからこの時期に実施している。GW明けと夏休み明けの結果に大きな差はなく、悪くはなっていないと考える。本校は担任、部活動の顧問など、それぞれ日々の生徒の変化に耳に入りやすい、気づきやすい状況ができているということは良いことである。問題行動を未然に防ぎながら、安全・安心な学校作りを目指す。 ▷関　俊平　委員　今回(2回目)の結果内容は特に心配なことはなかったのか。 ▷浅川健太総括教諭　本校は部活に取り組む生徒も多いので、特に大きな心配はない。個々としては対応は必要なのでそれぞれの生徒に対応していく。 ③活動支援G (行事等について)　今里　学　総括教諭 9月に実施した文化祭は、一部日程で台風による変更があったが、二日目には3,500人の来場者を迎え無事に終了できた。毎年生徒の意見を取り入れ、少しずつ工夫をして変わってきている。10月に実施した生徒会役員選挙では、今回は多くの立候補者が出た。「落ちることもあるがやりたいのか」と聞くと「やりたいです」ということで実際の「選挙」となった。また、部活動については6月の時点では加入率74%(昨年度75%)であった。1年については80%であるが、学年が上がるとだんだんやめていく傾向にある。 ▷関　俊平　委員　体育祭を見たが、競技が増え、盛り上がっていてとても良かったと感じた。 ▷髙田　由美　委員　以前も言ったが、コロナ後縮小傾向なので、応援合戦などをぜひ取り入れてほしい。

④進路支援G
(進路活動について)　加藤 道夫 総括教諭
今は3年生の総合型受験のまさに発表の時期で、集計等はまだであるが、例年並みに合格しているように感じている。修学旅行については、参加者全員が有意義な、さまざまな体験ができた。3年の総合型受験の動向については、今年度は「結構チャレンジ」できている。自分の受かるレベルよりも頑張って上を目指している。昨年度は「ここでいいかな」という感じだった。

⑤情報・広報G
(広報活動について)　戸田 真一 総括教諭
「全公立展」では今回初めて最新情報を載せたチラシ3,000枚を配布した。多くの来場者に配り、3,000枚では足らなかったため、来年度は枚数を増やす予定。近隣の中学校に学校案内とともにポスターを配付し、青群祭や学校見学の日程等も周知させた。また、今後の予定としては学校見学・学校説明会のほか、荏田坂清掃・グリーンCLEANえだ大作戦などの地域連携事業も進める。

⑥管理運営G
(設備・PTAなどについて)　牧野 雄 総括教諭
電子黒板の活用で終業式などの行事を各教室で効率よく実施できた。表彰の画面では拍手をするなど、生徒もよい反応をしている。4年前はプロジェクターの整備が課題だったが、電子黒板が各教室に来たことで、授業にも自然になじんで活用されている。ただ、Wi-Fiがつながらず時間がかかる時がある。PTAの協力と見守りで生徒もよい環境で学校に通えている。

▷関 俊平 委員　今年度の入学式にとても感動した。以前は髪が金髪だったり、卒業式で奇声を上げる生徒もいたが、「式典」という儀礼を重んじる場にふさわしい態度がどの生徒もとれていて、礼儀正しかった。

(2) 地域連携評価部会

〇令和8年度地域連携中間報告について　三橋良明 副校長

・荏田南夏祭り　大雨のためボランティア有志の参加が少なかった。
・横浜市総合防災訓練　荏田高校としては初めての参加。9名の生徒がボランティアとして参加。とても有意義だったと感じた。
・横浜マラソン2026　首都高速の給水所などで生徒がボランティアとして活動。37名という多人数での参加となった。
・近隣保育園でのボランティア活動
・ハロウィンパーティー2026加賀1丁目まつり　吹奏楽、創作ダンス、バトントワリング、ジャグリング゛、合唱の5部活60名以上が参加
　今回の各ボランティア活動や地域交流で、新しい地域のつながりができたのではないかと感じている。

▷阿部 千鶴 委員　荏田南小では荏田校生に縄跳びを教えてもらい、上達できたことが良かった。また、6年生が荏田校生に走り高跳の実技を見せてもらったこともあり、生徒たちも印象に残った。

▷関 俊平 委員　横浜市総合防災訓練に参加したということから、災害時に救援救護で荏田校生も参加できないか。

▷小松 巌 校長　荏田高校では、災害時にはまず「自分の命を守る」「自助」→「公助」→「共助」を指導している。これは、災害時にはまず自分の命を守ることを優先し、その上で助け合うことが必要であると考えている。これを踏まえての行動になる。

4.その他　次回令和9年3月5日(金)15:00～ 開催予定